

～フェリーに乗って～



「夏休みになったら、どこへ行こう」そんなことを考えていらっしゃる方も多いのではないのでしょうか？ 旅にはいろいろなスタイルがありますが、フェリーに乗って海を渡るというのはどうでしょうか。今回はフェリーについての概要を紹介します。（おーたち）

※情報は2004年5月の時点のものです。

フェリーって どんな感じ？

まず、フェリーについての疑問点をQ&A形式で解決するこのコーナーから。これを読めばフェリーの基礎的なことは分かるようになります。

Q1. チケットはどこで入手できますか？

まず、生協のルネ旅行センターが挙げられます。ここには様々なフェリーのパンフレットも置いてあります。

ルネ以外では電話予約が一般的ですが、港などにあるフェリー会社のカウンター、旅行代理店で買うこともできます。会社によってはホームページから予約することもできます。

Q2. やっぱりフェリーは揺れるんですか？

一言で言ってしまうと、気象条件に左右されます。べた風で全く揺れないこともあれば、大荒れで激しく揺れることもあります。

一般的には瀬戸内海などの内海は海が穏やかなことが多く、太平洋や日本海といった外海は波が高いです。夏場は台風の影響で太平洋側が荒れやすく、逆に冬場は日本海が時化となり、荒れ狂います。

Q3. フェリーはどんなダイヤで運行しているのですか？

阪神地区（大阪南港や神戸港など）から四国、九州へは夕方から夜にかけて出発して、翌朝到着するものが多いです。北海道や奄美大島、沖縄行きなどはそれらより時間がかかるため、それぞれ異なったダイヤで運航されています。

Q4. 「フェリーならではの！」 ということはあるですか？

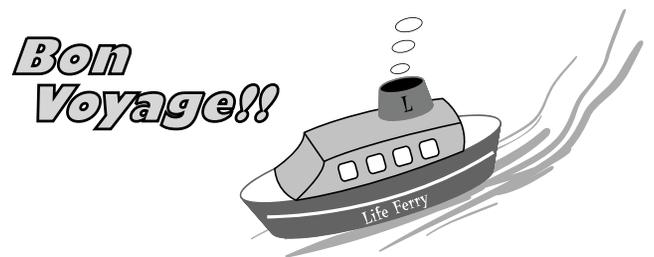
設備などについては後述していますが、他の交通機関より乗船客同士の交流が生まれやすいと思います。特に大部屋に雑魚寝する形式の2等船室ではそうです。友達になれる、とまではいなくても、一言二言ぐらいいは交わそうという雰囲気にならんとと思われるます。

また、長時間の航海になる際は、船員さんがイベントを企画してくれることもあるようです。

Q5. フェリーに乗っていると 困ることはありますか？

海上を航海していると携帯電話の電波が入らなくなってしまう、連絡が取れなくなります。船内に衛星回線を使った公衆電話がありますが、料金は高いです。ただし、瀬戸内海航路では島々のそばを航海するため、電波が入ることが多いです。

また、長時間の航海の際は暇つぶしになるものを持っていきましょう。



はみだし
すてーじ

今日のモヤシが異常に美味しい。
⇒明日もあさっても美味しいモヤシ。

(文・3 文1)
(異常を日常へ；編)

フェリーで行きたい あの街この街

関西からフェリーでいろいろなところへ行けますが、フェリーでのアクセスがお勧めな街を3つ紹介します。これ以外にも高知や北九州、宮崎などにも運航しています。

※フェリーパックには適用除外期があります。詳しくはルネに問い合わせてください。

○小樽（北海道）

運航会社：新日本海フェリー

(<http://www.snf.co.jp/>)

航路：舞鶴～小樽

関西から北海道へ行くには、ほとんどの場合、飛行機かフェリーしかありません。北海道へ安く行きたいならこれで決まりです。小樽まで現在は30時間かかりますが、今年夏から高速フェリーが導入され、20時間にまで短縮される予定です。ただ、波の荒い日本海を航海するため激しく揺れることもあり、船酔いに悩まされることがあるかもしれません。



○松山（愛媛県）

運航会社：

関西汽船 (<http://www.kanki.co.jp/>)

ダイヤモンドフェリー

(<http://www.diamond-ferry.co.jp/>)

航路：大阪・神戸～松山

名湯道後温泉や正岡子規、夏目漱石といった文人などで知られる四国有数の観光地、松山。一日最大3便と便数が多く、何よりも運賃が安いです。生協取り扱いの特別運賃「フェリーパック」で3380円（2等）と他の交通機関を寄せ付けない安さです。松山港は市中心部からバスで30分ほどかかるのですが、伊予鉄道の駅から徒歩で10分ほどとアクセスが不便ということはないと思います。瀬戸内海は波が穏やかなので船に乗りなれない人にもお勧めできます。

○別府（大分県）

運航会社：

関西汽船 (<http://www.kanki.co.jp/>)

ダイヤモンドフェリー

(<http://www.diamond-ferry.co.jp/>)

航路：大阪・神戸～別府

別府は別府八湯と言われる8つの温泉、自然の見せる奇観、地獄などが迎えてくれる日本有数の観光都市です。夜行バスが運行されていないため、フェリーが最も有力な選択肢です。生協取り扱いの特別運賃「フェリーパック」で4810円（2等）と安いです。別府港は市街地に近く、観光地にもターミナル前のバス停からアクセスしやすくお勧めです。



フェリーに乗る！

実際にフェリーに乗ったときの乗船から下船までのアウトラインを示しました。

※あくまで一例ですので、この通りになるとは限りません。

今回は大阪南港からフェリーで四国・九州方面へ向かいます。京阪と大阪市営地下鉄などを乗り継いで、大阪南港フェリーターミナルまでやってきました。

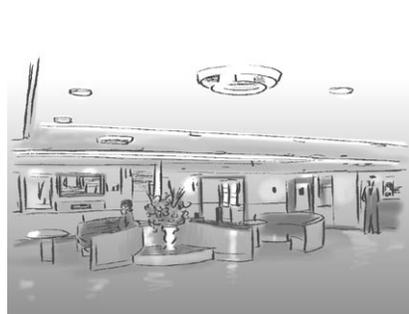
フェリーターミナル到着後、自分が乗船するフェリー会社のカウンターで乗船手続きをしましょう。ルネなど旅行代理店で購入した券ではそのまま乗船することができないので注意してください。港には早めに到着するようにしましょう。

乗船時間になったら船に乗り込み、指定された自分の船室へ。フェリーの船室はバス・トイレつきの特等から大部屋の2等まで様々な部屋があります。ベッドで休むか、雑魚寝するかなど予算や体調と相談して決めてください。

船の中には様々な施設があります。レストランや売店、浴場、ゲームコーナー、自動販売機といろいろとそろっているのが、他の交通機関との違いでしょう。特に広めの浴場でゆったりくつろげるというのはうれしいことです。

船が港を出たらデッキに出るか、船に展望スペースがあるならそこへ行ってみましょう。夕方に出発する船なら大阪や神戸のきらびやかな夜景を海上から望むことができます。また、明石海峡大橋や瀬戸大橋といった本四連絡橋はライトアップされるので、それも美しいです。船上から眺める景色のよさは船ならではでしょう。

夜が更けてくると売店などの営業がストップし、船内は減光されます。眠りにつきましょ。



翌朝になるとまた船内は動き出し、レストランや売店も営業を始めます。朝風呂も楽しむことができます。そうやっているうちに到着のアナウンスがされる時が来るでしょう。荷物をまとめてすばやく下船しましょう。港によってはフェリー会社が市街地への無料送迎バスを用意していることもあります。

はみだし
すてーじ

今年もまた農G虫の季節がやって来ました。
のうし-ちゅう

(薬・2 タモリ)